

小松SSHだより

石川県立小松高等学校

第2号 R7年7月
編集:SSH推進委員会
発行責任者:馬場智子

関東サイエンスツアーリポート

6月12日(木)～13日(金)に、「第一線の研究者・技術者等から直接講義や実習指導を受けることにより科学技術に対する興味・関心を高め、学ぶ意欲を育てる」ことを目的として、理数科1年生を対象に、関東サイエンスツアーリポートを行いました。今年度は東京大学本郷キャンパス・駒場キャンパス、東京科学大学大岡山キャンパスを訪問し研修を行いました。



東京大学赤門前

【日程】

- 1日目 小松駅→東京駅（北陸新幹線利用）
14:00～16:00 東京大学研修（4グループに分かれての研修）
本郷キャンパスでの研修…①素粒子物理国際センター
②定量生命科学研究所
駒場キャンパスでの研修…③生産技術研究所
④先端科学技術研究センター
19:30～21:00 小松高校理数科OBとの懇談会
- 2日目 9:30～12:00 東京科学大学大岡山キャンパス研修（4グループに分かれての研修）
①化学系（大森研究室） ②情報通信系（宮田研究室）
③生命理工学系（二階堂研究室） ④ものつくり教育研究支援センター
東京駅→小松駅（北陸新幹線利用）

どの研究室でも最先端の科学技術と知識をとても分かりやすく紹介していただき、生徒たちにとって非常に大きな刺激となりました。生徒たちは事前に研修先について調べるなどの予備学習を行っていたので、どの研修の際にも興味・関心をもって臨み、積極的に質問することができました。今回の研究室訪問により、大学ではどのような研究が行われているか、また、大学生が研究室でどのように研究を進めているのかをイメージしやすくなつたので、生徒たちがこれから進路を考えるうえでとても有意義な時間となりました。

夜には、本校理数科から東京大学、東京科学大学などに進学した先輩たちとの懇談会が行われ、充実した高校生活を送るための心構えや大学生活についての話を聞くことができました。

関東サイエンスツアーリポートは生徒たちにとって、とても充実した時間となりました。

東京大学

本郷
キャンパス



東京科学大学 大岡山キャンパス



駒場
キャンパス



生徒の声



OB・OG懇談会

●日本の最先端の研究に触れることができ、今まで自分の知らなかった科学の世界を見ることができたので、科学への興味が高まりました。

●インターネットの情報だけでは汲み取ることのできない物事を知ることができ、大学の凄さを感じました。

●今後どのような進路につくかまだ決まっていなかったけど、考えるきっかけになったので良かったです。

課題探究Ⅱ 開講式～中間報告会

「課題探究Ⅱ」では、毎週火曜日6, 7限目に、理数科2年生が少人数のグループに分かれて課題研究に取り組みます。これらの研究の成果は、第1回究める課題研究発表会（11月1日）、SSH韓国海外研修大田科学高校訪問（12月23日）、SSH課題研究ポスター発表会（1月14日）、石川県SSH生徒研究発表会（1月29日）、第2回究める課題研究発表会（3月15日）で発表します。

4月15日（火）に開講式が行われ、馬場校長先生から、これから課題研究をはじめる生徒たちに熱い激励の言葉をいただきました。また、課題研究担当の先生からは、これから課題探究の流れについての説明と実験室の使用マナーについての説明をしていただきました。毎週の活動時間にはどのグループも「正答のない世界へ、粘り強く！」を念頭に、それぞれの課題研究に意欲的に取り組んでいました。

6月17日（火）と6月24日（火）には、こまつ研究サポートプログラム「課題研究中間報告会」の第1回が行われました。金沢大学から佐藤政行先生、小松崎俊彦先生、森下知晃先生、川上裕先生、金沢工業大学から草野英二先生、石川県立大学から中谷内修先生に参加していただきました。生徒たちは自分たちで考えた研究テーマについてのアイディアを先生方に聞いていただき、専門的な視点からこれから研究を進めていくための方法や注意すべき点などについてのアドバイスをしていただきました。



開講式



「課題探究（2年普通科理系）」特別講義

5月8日（木）に、石川県立大学ゲノム情報利用技術教育センター講師の中谷内修先生をお招きして、2年普通科理系選択者の生徒を対象に「課題研究のテーマの選び方、課題研究の楽しみ方」というテーマで特別講義をしていただきました。生徒たちは次回からの探究活動に活かそうと、とても熱心に聞いていました。



「課題探究Ⅱ（2年理数科）」特別講義

6月18日（水）に、金沢工業大学情報理工学部知能情報システム学科教授の山本知仁先生をお招きして、2年理数科の生徒を対象に、今現在急速に利用が拡大している生成AIについての特別講義をしていただきました。山本先生は講義の中で、生成AIの正しい活用の仕方や発展的な活用の仕方、課題研究への効果的な利用法などについてとてもわかりやすくお話をくださいました。生徒たちは実際に生成AIを利用しながら講義を受けたので、理解しやすくとても有意義でした。



「課題探究Ⅰ（1年理数科）・探究基礎（1年普通科）」特別講義

6月25日（水）に、東京大学先端科学技術研究センター新エネルギー分野特任助教の樋木悠亮先生をお招きして、1年理数科、1年普通科の生徒を対象に、環境エネルギーに関する特別講義をしていただきました。発展的で難しい内容もありましたが、生徒たちは熱心に聞いており、質問もたくさん出ました。中には、これから新しいエネルギーの未来にとても興味がわいてきたという生徒もいました。

